

ホソバリユウビンタイ



学名 Angiopteris palmiformis

科名 リュウビンダイ

別名

区分 シダ類

分布 鹿兒島かごしま（奄美大島以南）、あまみ おおしまい なん 沖縄、おきなわ 小笠原、おがさわら 台湾、たいわん フィリピン

葉の形 被針形

葉の縁 鋸歯、波形

葉の先 鋭尖形

葉の種類 2回羽状複葉

葉の付方

葉の基部

実の種類

花・萼色

せつ
説

めい
明

山地の谷間等の湿気さんち たにまなど しっけの多い場所おおに生える大型はしよ は おおがた じょうの常緑りよくのシダ植物しよくぶつです。葉の長さは ながは5mほどになります。和名わめいの「龍鱗」は株りゅうりんの托葉かぶが重なり合たくよう かさ あい、龍りゅうの鱗うろこに似にているからといわれています。リュウビンタイよりおおがたも大型です。